

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業人材育成課

担当名：技能振興担当、職業訓練推進担当

内線：4602

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B64	ものづくり立県・埼玉を担う人材育成強化推進事業費			一般会計	労働費	職業訓練費	職業訓練総務費	産業人材育成総合支援事業費	
事業期間	平成29年度～平成33年度	根拠法令	なし			宣言項目	08 稼ぐ力の向上		
						分野施策	040834 産業人材の確保・育成		
1 事業概要				5 事業説明					
<p>ものづくり産業の持続的な成長を促すため、若手技能者の裾野をひろげ、全国トップレベルの技能者を育成する。先端産業分野への企業参入を支援するため、企業が求める高度な技能者を育成する。非正規雇用者を正社員に登用しようとする県内企業を支援するため、非正規労働者向けキャリアアップ訓練を実施する。</p> <p>(1) 未来を拓くものづくり人材強化育成推進事業 △125千円 事務経費の節減により生じた執行残の減額</p> <p>(2) 先端産業分野の人材育成事業 △2,793千円 ロボットのレンタル期間縮減に伴う賃借料等の減額</p> <p>(3) 非正規雇用者の正社員転換支援事業 △62千円 事務経費の節減により生じた執行残の減額</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 未来を拓くものづくり人材育成強化推進事業 県内の若年技能者をトップレベルまで引き上げ、技能五輪等への出場・入賞者を拡大するため、県内の優れた技能者による若手技能者向け集中指導を実施する。また、技能五輪全国大会参加者負担金及び県大会参加料の支援を行う。さらに、県内中小企業の従業員等を対象に、技能検定合格に特化した訓練を実施する。</p> <p>イ 先端産業分野の人材育成推進事業 航空産業分野への参入企業の若手技能者を対象に、各分野で求められる高度な技能を習得する訓練を実施する。また、介護職員を対象に、ロボットの導入・活用に必要な知識・スキルを学ぶ訓練を実施する。</p> <p>ウ 非正規雇用者の正社員転換支援事業 非正規雇用者を正社員に登用しようとする県内企業を支援するため、正社員として必要な知識やスキルを習得する非正規雇用者を対象としたキャリアアップ訓練を実施する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ものづくりトップレベル技能者育成訓練（定員200人）、技能検定合格者育成訓練（定員200人）</p> <p>イ 航空産業分野人材育成プログラム（定員50人）、介護ロボット導入・活用人材育成プログラム（定員200人）</p> <p>ウ 非正規雇用者キャリアアップ支援訓練（定員100人）</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 技能競技大会の出場・入賞や技能検定合格に向けた集中訓練を通して、県内の若手技能者のレベル向上を実現し、県内企業における技能伝承や競争力の強化に寄与する。もって県内経済の活性化を図る。</p> <p>イ 先端産業分野に参入する企業を人材育成面からバックアップし、事業の安定化と拡大の実現に寄与する。介護ロボットを導入・活用できる人材を育成することで、介護の身体的負担の軽減及び離職防止、県内の介護ロボット市場の拡大を図る。</p> <p>ウ 県内中小企業の人手不足を解消するとともに、非正規雇用者のキャリアアップと安定就労を実現する。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 未来を拓くものづくり人材育成強化推進事業：事務経費の節減により生じた執行残の減額</p> <p>イ 先端産業分野の人材育成推進事業：介護ロボットのレンタル期間を縮減したことによる賃借料等の減額</p> <p>ウ 非正規雇用者の正社員転換支援事業：事務経費の節減により生じた執行残の減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,980	繰入金	△2,980					0	31,786
現計額	34,766		34,766					0	